

びじゅチューン！とコラボした体験型展示 「なりきり日本美術館リターンズ」

東京国立博物館にて2020年10月27日（火）から開催

東京国立博物館〈トーハク〉、文化財活用センター〈ぶんかつ〉は、NHKとの共催により、親子のギャラリー「トーハク×びじゅチューン！なりきり日本美術館リターンズ」を東京国立博物館本館で開催いたします。（会期：2020年10月27日（火）～12月6日（日））

本展は、アーティストの井上涼さんが歌とアニメで世界の「びじゅつ」を紹介する番組「びじゅチューン！」（NHK Eテレ）とのコラボレーション第二弾。番組で取り上げられたトーハク所蔵の文化財をテーマに、高精細複製や映像をつかって「びじゅつ」を楽しむ体験型の展覧会です。

2018年にトーハクで開催し好評を博した「なりきり日本美術館」

の続編にあたり、今回は新たに、重要文化財「ふうじんらいじんずびょうぶ風神雷神図屏風・

なつあきくさずびょうぶ夏秋草図屏風」、国宝「しょうりんずびょうぶ松林図屏風」、国宝「やつはしまきえらでんすずりぼこ八橋蒔絵螺鈿硯箱」に関わる3つのコンテンツが体験できます。

体験のキーワードは、「なりきり」。絵の中に描かれたキャラクターや、作品の世界におじゃまするお客さんになりきって、その背後にある物語や風景を体感することで、自由な想像力で文化財に親しみ、鑑賞を深めていただくきっかけを提供します。複製やデジタル技術を使った展示により作品の新たな一面が見えてくるでしょう。子どもから大人まで夢中になれる展覧会です。

トーハクのコレクションには、「びじゅチューン！」の歌のもとになった文化財がいくつもあります。本展で取り上げる作品も含め、会期中には「びじゅチューン！」に登場する文化財がトーハク館内に計8件展示されます。「なりきり日本美術館リターンズ」のあとには、館内にある「ほんもの」の文化財も探してみましょ。トーハク全体を楽しんでいただける機会となります。



展覧会のみどころ

■「びじゅチューン！」映像コーナー

「びじゅチューン！」作品からトーハク所蔵作品に関連するものを選び、プロジェクターで上映いたします。2018年の「なりきり日本美術館」開催の際にリリースされたテーマソング「トーハクトラベル」も併せて上映します。

■コンテンツ1：風神雷神図屏風・夏秋草図屏風

表と裏でダブルデート

現在は保存のために別々の屏風に仕立てられている重要文化財「風神雷神図屏風」（尾形光琳筆）と、重要文化財「夏秋草図屏風」（酒井抱一

びじゅチューン！「風神雷神図屏風デート」©NHK・井上涼 2020



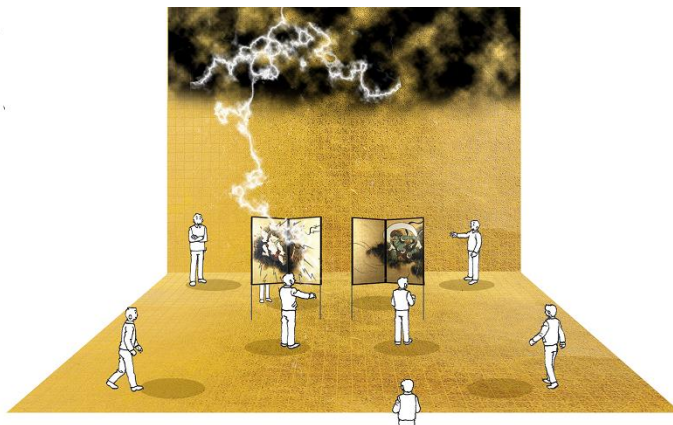
©NHK・井上涼2020

筆)。光琳が風神雷神図を描いた約 100 年後、その裏側に抱一が夏秋草図を描きました。

本展では、かつての姿のように表裏一体となった高精細複製品*1に、プロジェクションマッピングと音響による演出を組み合わせ、屏風の世界を表現します。

風神・雷神になりきって、屏風の中に雷や風を起こせるインタラクティブな仕掛けも。屏風のオモテで雷雨を起こすと、そのウラでは何が起こるでしょう？屏風のウラに込められた意味に思いを巡らせてみてください。

➤【コンテンツ制作：有限会社プロトタイプ】



会場イメージ図



重要文化財 風神雷神図屏風 尾形光琳筆 江戸時代・18 世紀
東京国立博物館蔵

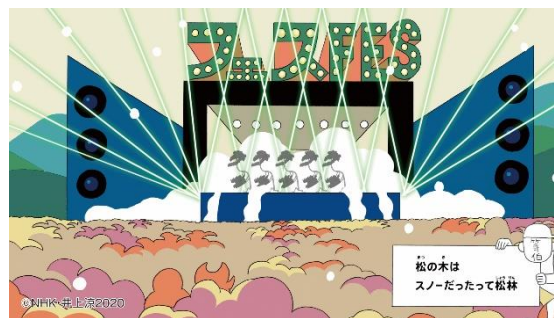


重要文化財 夏秋草図屏風 酒井抱一筆 江戸時代・19 世紀
東京国立博物館蔵

*1) 重要文化財「風神雷神図屏風・夏秋草図屏風」の高精細複製品は、〈ぶんかつ〉とキヤノン株式会社による共同プロジェクト「高精細複製品を用いた日本の文化財活用のための共同研究」の一環として活用しています。

■コンテンツ2：国宝「松林図」ライブ

「びじゅチューン！」の歌では、スモークのたかれたステージでパフォーマンスする松の木のユニット“松林ズ”が登場します。本展ではその世界観によせ、展示室内をライブ会場に見立てました。ライブの観客になりきって、国宝「松林図屏風」（長谷川等伯筆）の高精細複製品*2とプロジェクションマッピングによる展示をご覧ください。“松林ズ”のライブから、場面は次第に冷たくしめったもやの中、松林の一日を表現した映像にかわります。松林に雪の降るシーンでは、会場床面にも雪のプロジェクションを施し、絵の中に遊ぶ楽しさを感じていただけます。➤【コンテンツ制作：有限会社プロトタイプ】



びじゅチューン！「松林ズ」©NHK・井上涼 2020



会場イメージ図



国宝 松林図屏風（右隻） 長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀
東京国立博物館蔵

*2) 国宝「松林図屏風」の高精細複製品は、特定非営利活動法人 京都文化協会とキャノン株式会社が共同で取り組んでいる「綴プロジェクト」(正式名称：文化財未来継承プロジェクト)の第13期作品として制作され、この度、国立文化財機構へご寄贈いただきました。 <https://global.canon/ja/tsuzuri/>

■コンテンツ3：おじゃまします八橋蒔絵硯箱

本コンテンツでは、2つの体験プログラムを用意しています。

【1】タッチパネルで自分だけの硯箱をデザイン

タブレット上で、漆工芸の技法である「蒔絵」の制作工程や、自分だけの八橋蒔絵螺鈿硯箱のデザインが体験できるプログラム「うるし体験」です。ご自身でデザインした硯箱は、展示ケースをイメージした壁面モニターに映し出されます。おみやげにペーパークラフト用の硯箱データもダウンロードできますので、おうちでプリントアウトしてオリジナルの硯箱を組み立ててみてください。 ➤【コンテンツ制作：TNYU inc.】



会場イメージ図

【2】4K映像で硯箱の世界を体感



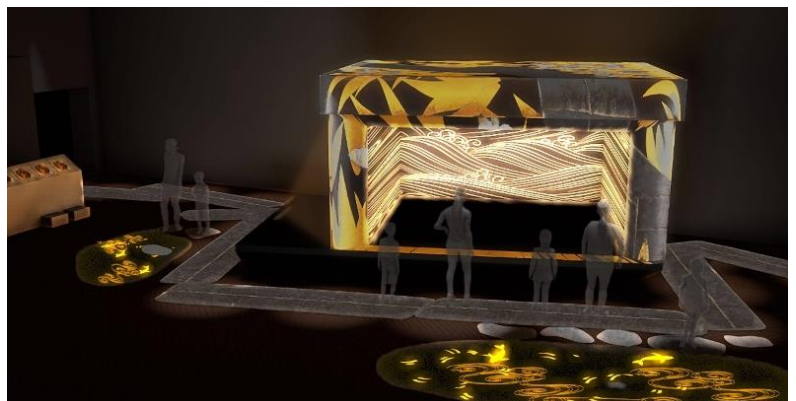
びじゅチューン！「住んでます、八橋蒔絵硯箱」
©NHK・井上涼2020

硯箱の中に人が住んでいるという「びじゅチューン！」の歌にちなみ、展示室内に高さ約2メートルの巨大な箱を設置。橋を渡って硯箱に近づくと、人の動きに合わせて水面が揺れたり、水中の魚が動いたり…豪邸におじゃまするお客さんになりきって箱の内側をのぞいてみると、鉛の橋や螺鈿の燕子花、金蒔絵による波紋の織り成す光琳の世界を4K映像で体感できます。普段の展示では見ることのできない硯箱の内側と外側のモチーフとの関係や、光琳のデザインの意図に気が付くきっかけになるでしょう。

➤【コンテンツ制作：凸版印刷株式会社】



国宝 八橋蒔絵螺鈿硯箱 尾形光琳作 江戸時代・18世紀
東京国立博物館蔵



会場イメージ図

開催概要

会期：2020年10月27日（火）～12月6日（日）
会場：東京国立博物館 本館 特別5室・特別4室
開館時間：9：30～17：00 ※金曜日・土曜日は21：00まで開館
休館日：月曜日、11月24日（火）
※ただし、11月23日（月・祝）は開館
観覧料：一般1000円、大学生500円
※大学生の方は、学生証をご提示ください。
※障がい者とその介護者各1名は無料です。入館の際に障がい者手帳等をご提示ください。
※高校生以下および満18歳未満、満70歳以上の方は、総合文化展について無料です。入館の際に年齢のわかるもの（生徒手帳、健康保険証、運転免許証など）をご提示ください。
※総合文化展観覧料もしくは開催中の特別展観覧料（観覧当日に限る）でございました。
※同時期に開催の特別展「工藝2020－自然と美のかたち－」（表慶館2020年9月21日（月・祝）～11月15日（日））、特別展「桃山－天下人の100年」（平成館2020年10月6日（火）～11月29日（日））は別料金および事前予約（日時指定券）が必要。ただし、中学生以下は無料。



【事前予約制】

混雑緩和のため、当館では事前予約制（日時指定券）を導入しています。入館にあたって、小さなお子様、障がい者等、入館無料の方や観覧券等をお持ちの方を含め、すべてのお客様はオンラインによる事前予約が必要です。

※直接窓口にお越しになった場合、事前予約の予定枚数に空きがあれば、そのまま窓口にて予約いただけます。

※特別展の事前予約をされた方は、総合文化展の事前予約の必要はありません。

※詳細は東京国立博物館ウェブサイトをご確認ください。



主催：東京国立博物館、文化財活用センター、NHK

展覧会特設ページ：<https://cpcp.nich.go.jp/narikiri2020/>

東京国立博物館ウェブサイト：<https://www.tnm.jp/>



「なりきり日本美術館リターンズ」展覧会特設ページ

■「びじゅチューン！」とは？



世界の「びじゅつ」を歌とアニメで紹介する NHK Eテレの番組です。作詞・作曲・アニメ・歌などすべてを手がけるのはアーティストの井上涼さん。豊かで自由な想像力で美術の楽しみを広げ、多くの子どもたちから支持を得ています。

<http://nhk.jp/bijutune>

毎週水曜 午後7時50分放送

<再放送> 毎週月曜 午前5時50分、毎週火曜 午前0時50分（月曜深夜）



©NHK・井上涼2020

©NHK・井上涼2020

会期中にトーハクで展示される「びじゅチューン！」関連作品

<総合文化展>

- ・重要文化財 夏秋草図屏風 酒井抱一筆 江戸時代・19世紀（展示期間：11/3～12/13 本館8室）
- ・能面 小面「永井恒澄」銘 上杉家伝来 江戸時代・17～18世紀（展示期間：10/20～12/25 本館9室）
- ・国宝 八橋蒔絵螺鈿硯箱 尾形光琳作 江戸時代・18世紀（展示期間：9/8～11/29 本館12室）
- ・国宝 太刀 三条宗近(名物 三日月宗近) 平安時代・10～12世紀 渡邊誠一郎氏寄贈（展示期間：9/8～11/29 本館13室）
- ・重要文化財 摩耶夫人および天人像 飛鳥時代・7世紀（展示期間：～11/29 法隆寺宝物館 第2室）
- ・重要文化財 湖畔 黒田清輝筆 明治30年(1897)（展示期間：10/27～11/8 黒田記念館 特別室）

<特別展「桃山一天下人の100年」／平成館 2020年10月6日（火）～11月29日（日）>

- ・国宝 松林図屏風 長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀（展示期間：10/20～11/29）
- ・国宝 洛中洛外図屏風（舟木本） 岩佐又兵衛筆 江戸時代・17世紀（展示期間：10/27～11/29）
- ・唐獅子図屏風 狩野永徳筆 安土桃山時代・16世紀 宮内庁三の丸尚蔵館蔵（展示期間：11/3～11/29）

*所蔵館の表記のないものはすべて東京国立博物館蔵

【東京国立博物館】

1872年創立の日本でもっとも長い歴史をもつ博物館。収蔵する文化財は約12万件。日本から中国、朝鮮半島、西アジア・エジプトまでの地域を網羅し、土器や土偶などの考古遺物から浮世絵や刀剣、甲冑、近代絵画など、日本の美術史をたどることのできるコレクションを誇ります。

【文化財活用センター】

文化財活用センターは国内外のさまざまな人が、日本の文化財に親しむ機会を拡大するため、2018年7月、国立文化財機構のもとに設置された組織です。愛称は「ぶんかつ」。文化財を通じて豊かな体験と学びを得ることができるよう、文化財を活用した新たなコンテンツやプログラムの開発を行なっています。また、国立博物館の収蔵品の貸与を促進する事業や、文化財のデジタル情報の公開、文化財の保存環境に関する相談窓口を開設しています。

◇ 本件についての取材・お問い合わせ ◇

国立文化財機構 文化財活用センター 企画担当

〒110-8712 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館東洋館5階

E-mail : cpcp@nich.go.jp TEL : 03-5834-2856(直通) FAX : 03-5834-2857



ぶんかつ公式サイト

<https://cpcp.nich.go.jp/>



Instagram

https://www.instagram.com/cpcp_nich/



Twitter

https://twitter.com/cpcp_nich



YouTube

<https://www.youtube.com/channel/UCG686bUllwC5VbjLz8yibA/videos>